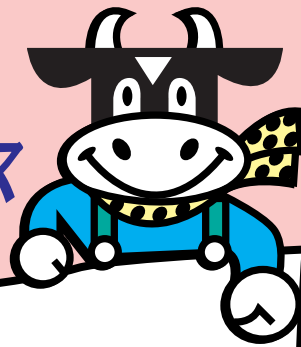


# ワンポイント・アドバイス



## 子牛の白筋症

### 白筋症って？

あまり聞きなれない病気と思いますが、白筋症はセレン・ビタミンEの欠乏が原因で心筋や骨格筋に変性が生じ、突然死または運動障害を示す病気です。

10～100日齢の子牛に多く、突然の両前肢や四肢の起立困難、呼吸障害などを起こします。

### セレン？ビタミンE？

これまたあまり聞きなれないと思いますが、セレンとビタミンEは動物の生命活動に不可欠なミネラルで、不足すると欠乏症を招く物質です。セレンは土壌中に微量なレベルで含まれ、土壌↓牧草などの植物↓牛という流れで吸収されるので、土壌中のセレン不足がセレン欠乏につながります。



セレンとビタミンEは協調して生体に有害な過酸化物の生成を抑制する重要な働きがあります。

### なぜ起こるのか？

セレンとビタミンEの欠乏が原因で筋線維の変性、破壊により発症します。

ビタミンEは胎盤通過が困難で母牛から胎子への移行が悪く、子牛は欠乏状態で産まれます。セレンは胎盤通過が容易ですが、母牛がセレン不足であると子牛は欠乏状態で産まれます。そのため両成分は初乳により吸収されることが重要となりますが、母牛が欠乏状態であると両成分が不足し、子牛は欠乏症となる可能性があります。また、根室管内は道内でも有数のセレン欠乏地帯であり、欠乏のリスクは高いといえます。

### 対策は？

写真の子牛はカゼや下痢もないものの、元気がなく、起立不能であった子牛です。イーエスイー（セレン・ビタミンE注射液）の投与により幸いにも写真のように

元気になりました。

白筋症は発症すると死亡や、運動・発育障害などの後遺症を残す例もあり予防が重要です。

セレン・ビタミンE含量の固形塩を常時舐食できるようにし、子牛にはイーエスイーを投与することが最も効果的だと思います。

出生直後の子牛にイーエスイー2ml投与すると9週間程度予防できるといわれています。

またセレンは初乳の移行抗体の吸収を高める作用もあることがわかりました。

これから大事な後継牛となる子牛が元気に育つように「子牛が産まれたら初乳と同時にイーエスイーを」をお勧めします。

